

## 第2期観音寺市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況について

(令和4年度実績)

### 1 調査方法

基本目標の「数値目標」、及び各具体的な施策の「重要業績評価指標（KPI）」の前年度実績を確認するとともに、KPIの進捗状況について、次の凡例により段階的に評価した。

#### 【凡例】各年度の進捗状況

「重要業績評価指標（KPI）」について、目標値に対する進捗度評価を行った。実績値/目標値による達成度に応じて、主にA～Eの5段階で評価している。

「A」：(100%以上) 目標以上に進捗しており、継続して事業を実施する。

「B」：(80%以上～100%未満) 目標に向け進捗しており、継続して事業を実施する。

「C」：(50%以上～80%未満) 目標に向け概ね進捗しており、継続して事業を実施する。

「D」：(25%以上～50%未満) 目標を下回っており、要因の分析をして事業を実施する。

「E」：(25%未満) 目標を大きく下回っており、内容によっては目標値または事業見直しを要する。

「-」：当該年度調査なし、統計調査未実施等により達成率の算出ができないもの。

※減少を目指す指標は目標値/実績値により算出。

### 2 調査結果

「基本目標」における「数値目標」の進捗状況

「重要業績評価指標（KPI）」の進捗状況及び評価

基本目標 1 活力と魅力あるしごとづくり				
数値目標		基準値 (平成 27 年)	目標値 (令和 6 年)	
従業者数 (非正規、外国人も含む)		29,406 人	29,500 人	
令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
27,327 人 (※)	—	—	—	—

※ 国勢調査の結果による

(1) 産業の成長を支える人材の育成・確保 (意欲的な担い手や後継者の育成・確保)					
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (平成 30 年度)	目標値 (令和 6 年度)	KPI の進捗評価	
合同企業説明会における 就業者数 (採用)		4 人	10 人	C	
令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	
1 人	—	7 人			
<p><b>【関連施策の実施状況】</b>            令和 4 年 4 月開催 (2023 年 3 月大学等卒業予定者などを対象) の合同就職説明会では、来場者数は 84 人で、その後採用に至った人数は 7 人であった。また、参加企業から大学等の春休み期間中の開催を希望する声があがったことから、令和 5 年 3 月 (2024 年 3 月大学等卒業予定者などを対象) に合同就職説明会を開催したところ、来場者数は 72 人であった。            企業の出展については、希望する企業が多くいたことから、企業ブースの配置などを工夫し参加企業数の上限を引き上げるなど対応したが、出展できない企業が存在した。            また、学生等が参加しやすいよう春休み期間中で開催したが、来場者数が伸び悩んだ。</p>					
<p><b>【今後の取組について】</b>            企業アンケートによると 3 月開催を希望する声が多いため、次回も 3 月開催を予定しており、参加意向を示した企業がすべて参加できるよう 1 日 2 部制での開催等を検討する。また、来場者数を増やす取組みとして、従来の学校訪問等による広報活動に加え、SNS 広告やパナー広告などを利用し、効果的な広報について検討する。</p>					
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (平成 30 年度)	目標値 (令和 6 年度)	KPI の進捗評価	
認定新規就農者数 (累計)		28 人	35 人	A	
令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	
39 人	45 人	50 人			

<p><b>【関連施策の実施状況】</b>  認定新規就農者の農業用機械（トラクター等）の整備に対する助成を要望のあった10人に行い、初期負担の軽減や経営発展・定着を図るとともに、就農希望者を受け入れる里親育成事業により、先進農家（研修生2人）の支援も行った。  また、次世代を担う意欲ある認定新規就農者が自らの経営を確立する期間の資金（農業次世代人材投資資金・経営開始資金）として、要件を満たす延べ27人に対し、補助金を交付した。  認定新規就農者の令和4年度中の新規認定は5人であった。</p>				
<p><b>【今後の取組みについて】</b>  認定新規就農者については、令和4年度中に認定期間満了等の8人のうち、6人が認定農業者となり、地域農業の中心的な経営者として規模拡大等に努めてくれているが、本格的な高齢化社会の到来で、今後ますます担い手の不足・耕作放棄地の増加が予測され、認定新規就農者の発掘・育成は喫緊の課題となっている。  担い手の確保・育成のため、移住希望者の就農相談も行っているが、抜本的な対策はない状況である。魅力的で儲かる農業の仕組みづくりのため、引き続き各種政策を推進するとともに、農業分野を超えた連携を進めることが重要である。</p>				
重要業績評価指標（KPI）		基準値 （平成30年度）	目標値 （令和6年度）	KPIの進捗評価
森林整備面積（累計）		0ha	1.5ha	E
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
0ha	0ha	0ha		
<p><b>【関連施策の実施状況】</b>  令和2年度から森林組合と連携し、大野原町有木地区の1林班を対象地に選定した。林班内の大規模な私有林・人工林所有者を訪問するとともに、郵送による意向調査を実施し、現在、森林経営計画を策定中である。令和4年度に実施予定であった、里山環境整備事業（約0.9ha、高屋地区）については、関係機関との調整が難航したこともあり、令和5年度に実施することとなった。</p>				
<p><b>【今後の取組について】</b>  森林経営管理法が施行され、近隣市町も含め、森林整備が推進されることで、林業就業者の絶対数は増加に転じる可能性を秘めているが、一朝一夕には困難である。  確実に事業実績を積み上げていく中から将来像を展望したい。</p>				

(2) 起業創業支援や企業誘致の推進				
重要業績評価指標（KPI）		基準値 （平成30年度）	目標値 （令和6年度）	KPIの進捗評価
中小企業経営改善資金利子補給 実施件数と金額		132件 2,657,130円	150件 3,000,000円	D
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
121件 2,159,763円	90件 1,239,561円	72件 953,541円		

重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (平成 30 年度)	目標値 (令和 6 年度)	KPI の進捗評価
企業等誘致数 (累計)		0 件	5 件	C
令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
0 件	2 件	3 件		
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (平成 30 年度)	目標値 (令和 6 年度)	KPI の進捗評価
サテライトオフィス誘致事業所数 (累計)		0 件	1 件	E
令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
0 件	0 件	0 件		
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (平成 30 年度)	目標値 (令和 6 年度)	KPI の進捗評価
創業者セミナーの参加者数		10 人	15 人	A
令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
9 人	11 人	23 人		
<p><b>【関連施策の実施状況】</b></p> <p>市内中小企業者への利子補給については、令和 4 年度に新たに利子補給対象融資を実施したのは 11 件であり、令和 3 年度の 3 件に比べ増加したものの、全体としては減少した。</p> <p>企業誘致については、観音寺港三本松地区（風瀬町）へプラスチック製品製造を行う市外事業者の立地があった。</p> <p>また、香川県企業誘致推進協議会の一員として Japan IT Week 関西に参加し、各企業ブースを回りながら誘致活動を行ったが、前向きな回答を得ることができなかった。</p> <p>市内で創業を検討する方などを対象とした創業セミナーについては、令和 4 年 8 月に実施。市広報紙で創業者特集を行うなど、周知を強化したところ、23 人の参加があった。</p>				
<p><b>【今後の取組について】</b></p> <p>利子補給の対象者は、新型コロナウイルス感染症の関連融資を利用する事業者や同融資への借換えを行う事業者が多くいたため減少している。今後、設備投資が活発化してくると本制度を利用する事業者も増えることが予想されるため、関係機関との協力体制を維持していく。</p> <p>企業誘致に関しては、急速に在宅勤務やリモートワークができる環境が整ったことにより、オフィスを構えるニーズが減少している印象である。</p> <p>また、企業が立地を検討するうえで、重視する項目の一つとして、地域における人材・労働力の確保が挙げられている。このことを踏まえ、香川県とも連携しながら誘致活動を継続する。企業の人材確保については、就職説明会等による支援を実施するとともに、ハローワーク観音寺との連携強化に努める。</p> <p>市内で創業予定の方に対しては、市広報紙における創業者特集や、セミナー開催の周知を徹底することで、継続的な参加を促していく。</p>				

(3) 地域産業の競争力強化					
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (平成30年度)	目標値 (令和6年度)	KPIの進捗評価	
製造品出荷額等		42,348 百万円	43,000 百万円	B	
令和2年度公表 (平成30年分)	令和3年度公表 (令和元年分)	令和4年度公表 (令和2年分)	令和5年度公表 (令和3年分)	令和6年度公表 (令和4年分)	
41,508 百万円	42,214 百万円	37,650 百万円			
<p><b>【関連施策の実施状況】</b></p> <p>企業版ふるさと納税による寄附を活用して、地元信用金庫やまちおこし団体と連携した、地域産品のプロモーション活動を行っており、物産展開催のほか市内事業者や観音寺物産のPR冊子の作成などを支援している。</p> <p>令和4年度は7月16日と11月20日にハイスタッフホールで物産展を開催し、物産展会場のほか、地元バス会社の大型バス乗車体験やミニSL乗車コーナーなど、家族連れや若年層が来場するきっかけ作りに取り組み、地域食材をPRする機会を広げた。</p> <p>その他では、まちおこし団体にてPR冊子の作成、JR高松駅構内における物産フェアの開催などを行った。</p> <p>また、観音寺市の豊かな地域資源から生み出された農林水産物及びその加工品をブランド商品に認証して情報発信を行っており、令和4年度は、広告広報活動、補助制度を通じた認証事業者への活動支援を行うとともに、認証事業者と共に「さぬきマルシェ in サンポート」に参加し、認証品のプロモーション活動を行った。</p> <p>認証品の新規募集については、3品を新たに認証品に追加した。</p>					
<p><b>【今後の取組について】</b></p> <p>地元信用金庫やまちおこし団体と連携した、地域産品のプロモーション活動については、令和5年11月に第6回目の物産展を開催する予定となっている。</p> <p>また、まちおこし団体を中心として、地域産品等のPR冊子の発刊やSNSでの情報発信を継続して行うほか、今後はデジタル冊子の作成等についても検討を進める。</p> <p>これらの取組をとおして、地域の事業者や物産品の認知度向上を図るとともに、持続可能なまちづくりに貢献していく。</p> <p>観音寺ブランド認証の取組については、認知向上が当面の課題となっており、ふるさと納税返礼品への登録やシティプロモーションにおけるPRなど他事業との連携を進めるほか、プロモーション映像作成や市のホームページにおける掲載を改善するなど、効果的なPRに努める。</p>					

基本目標 2 誰もがいきいきと暮らし続けられるまちづくり				
数値目標		基準値 (平成 28 年 9 月実施市民アンケート)	目標値 (令和 3 年度実施予定アンケート)	
観音寺市に対する愛着度 (一般)		愛着を感じている 46.5% 愛着をやや感じている 30.5% 計 77%	計 85%	
令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
—	67.9%	—	—	—
数値目標		基準値 (平成 31 年 3 月実施子育てアンケート)	目標値 (令和 6 年度実施予定アンケート)	
子育てしやすいまちだと思う人の割合		42.7%	60.0%	
令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
—	—	—	—	実施予定

(1) 子どもの成長を支える				
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (平成 28 年度)	目標値 (令和 3 年度)	KPI の進捗評価
観音寺市に対する愛着度 (高校生)		とても好きだ 20.3% どちらかというが好きだ 48.2% 計 68.5%	とても好きだ どちらかというが好きだ 計 75.0%	—
令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
—	59.4%	—	—	—
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (令和 2 年度)	目標値 (令和 6 年度)	KPI の進捗評価
地域や学校の活動に学校運営協議会の委員が参加(協働)した回数が、年間 2 回以上の市内小中学校の割合		13% (2/15 校)	100% (15/15 校)	A
令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
13% (2/15 校)	80% (12/15 校)	100% (15/15 校)		

重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (平成元年度)	目標値 (令和6年度)	KPI の進捗評価
市内小学校の地域学校協働本部設置率		0% (0/10校)	100% (10/10校)	C
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
20% (2/10校)	20% (2/10校)	60% (6/10校)		
<b>【関連施策の実施状況】</b>				
<p>子どもの成長を支える取組として、伊吹島での交流や体験学習により島の歴史や産業を直接学習するとともに、観音寺市の自然の素晴らしさを体験することを目的として、市内の各小学校の児童を対象に洋上学習を実施した。</p> <p>また、異年齢集団での活動を通して自主性・協調性を養うとともに、ふるさとへの関心や愛着心が深まることを目的として、ふるさと学習・環境学習・キャンプなどの体験活動に、自然や文化、歴史等、様々な活動を取り入れる事により子ども達に貴重な体験の場を提供した。</p> <p>小学校・中学校における情報教育については、学校教育情報システム環境の整備や、学校のICT化を推進している。</p> <p>令和4年度より各学校からのインターネット直接接続及び教育機関専用プロバイダの利用を開始し、学習用タブレットの通信環境が整った。また令和3年度から導入したデジタルドリルのほか、学習支援ソフトについても1年間の試用期間を経て本格導入を開始した。</p> <p>1人1台端末を活用することで、各グループの興味関心に合わせた協働学習や個々の理解度に合わせた学習が進められ、情報活用能力も向上した。さらに、遠隔教育を充実させる機器を整備したことで、コロナ禍により集めできなかった集会や学校行事をオンラインで結び、学校の一体感を高めることができた。</p>				
<b>【今後の取組について】</b>				
<p>児童・生徒を対象とした校外学習においては、参加者が等しく学ぶことができるように、関係機関との連絡調整や説明の工夫などが必要であり、様々な体験をとおして本市の自然や文化の素晴らしさを学び、愛郷心が深まるよう活動内容の充実を図る。</p> <p>また、小学校・中学校における情報教育については、ICT活用における学校への支援を強化し、学校間の情報交換、研修等を進め、児童・生徒の情報活用能力を高める。また出欠報告システムなど、デジタル活用による保護者との連絡の効率化を図る。</p> <p>今後の統合型校務支援システムの整備、成績関係書類の電子保存等についても検討し、学校全体に一層のデジタル化を推進して教員のICT活用能力を高め、児童・生徒と向き合う時間を創出する。</p>				

(2) 子育て支援・共同子育て推進				
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (平成20～平成24)	目標値 (平成30～令和4)	KPI の進捗評価
合計特殊出生率		1.53	1.67	—
令和2年度 (平成25～平成29)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (公表予定)
1.69	—	—	—	

重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (平成 29 年度)	目標値 (令和 6 年度)	KPI の進捗評価
出生者数		436 人	406 人	B
令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
334 人	372 人	343 人		

**【関連施策の実施状況】**

子育て支援に関しては、生後 4 か月までの乳児がいる全ての家庭を訪問（健康増進課の保健師による新生児訪問機会の活用と香川県助産師会への委託）し、親子の心身の状況や養育環境等の把握と助言を行い、支援が必要な家庭に対する適切なサービスの提供につなげた。

令和 4 年度実績は訪問件数 346 件（うち助産師会の訪問 49 件）であった。

平成 29 年 6 月に開設した子育て支援センター「ほっとはうす菽」では、子育て親子の交流や子育てに関する相談・育児の情報提供を行うなど、子育て家庭を支援している。令和 4 年度は休館することなく、感染対策を行いながら事業を実施した結果、入館者数は 22,379 人まで回復した。（令和 3 年度利用実績 11,762 人）

民間事業者が事業を行っている拠点施設については、令和 4 年度は 11,800 人が利用。令和 3 年度の 10,596 人から 1,204 人増加した。

放課後児童クラブでは、保護者が共働き等に寄り昼間家庭にいない小学生を預かり、その遊びと生活を支援している。伊吹小学校区を除く 8 校区において、公設は令和 4 年度より大野原と豊浜小学校区で 1 教室ずつ増やし 12 教室、民設 4 教室で実施した。

このうち民設 1 教室は令和 4 年 7 月から新たに社会福祉法人が運営を引き継いだことにより、年間開設日数の増加となった。

また、平成 30 年度から放課後児童クラブを巡回する専門指導員を配置したことによって、支援員の指導や複雑化する児童との関わり方を指導する体制をとっている。

**【今後の取組について】**

乳児家庭等への相談支援については、核家族化、少子化の進行がつづく中、必要な事業であり、子育ての孤立化を防ぎ適切な支援につなげる。

また、多様化する子育て環境のなか、訪問する職員のスキルアップに取り組む。

ほっとハウス菽等の子育て支援拠点については、引き続き魅力あるイベント等を行いながら、子育てで孤立することがないように、気軽に親子等が立ち寄れる居場所作りとして、リピーターの増加や新たな利用者の発掘に努める。民間の子育て支援センターについても、利用促進のため引き続き幅広い情報発信を行うとともに、地域全体の子育て意識の向上に努める。

放課後児童クラブは、利用希望者が増加傾向にあり、一人でも多くの児童の受け入れができるよう支援員の確保に努め、各種研修等を活用した支援員の技術向上や関係機関との連携強化を図る。

**(3) 誰もが活躍できるまち**

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (平成 30 年度)	目標値 (令和 6 年度)	KPI の進捗評価
外国人の人口	653 人	1,800 人	C



令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1,063人	924人	1,117人		
<p><b>【関連施策の実施状況】</b></p> <p>誰もが活躍できるまちづくりにおいて、超高齢化社会の到来に備えるべく、高齢者が自ら介護予防に取り組むと共に、運動や社会交流等を目的とした身近な通いの場やスポーツ、レクリエーションなどの活動の場を確保し、高齢者の生きがいを推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般介護予防教室（観トレ7）：運動の普及啓発を目的とした健康運動指導士による介護予防教室を3会場で実施。1人月1回、のべ1,135名の参加があった。</li> <li>・観トレマスターフォローアップ講座：地域で活動する運動ボランティアの活動支援を目的に月1回講座を実施。19名のマスターが活動中。</li> <li>・介護予防推進事業の地域展開（銭形貯筋体操）：歩いて通える身近な場所で、地域が自主的に介護予防に取り組むための「銭形貯筋体操」の立ち上げ支援や運営支援を実施。令和4年度末で市内12か所で立ち上がっている。</li> </ul>				
<p><b>【今後の取組について】</b></p> <p>高齢者の介護予防や生きがいをいづくりに関しては、高齢者が自ら介護予防に取り組み、運動や体操を取り入れた気軽に集まることができる場やスポーツ、レクリエーションなどの活動の場を確保し、健康や生きがいを推進する。</p> <p>また、元気な高齢者がボランティアとして活動できる場を確保することで、地域で活躍できる仕組みづくりを進める。</p>				

(4) 女性が働きやすい職場環境の整備				
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (令和元年度)	目標値 (令和6年度)	KPIの進捗評価
かがわ女性キラサボ宣言に登録している市内事業所数(累計)		21事業所	30事業所	A
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
25事業所	28事業所	32事業所		
<p><b>【関連施策の実施状況】</b></p> <p>第2次観音寺市男女共同参画計画に基づき、互いの人権を尊重しつつ男女がともに活躍するまちづくりをめざし、広報紙への啓発記事の掲載、庁舎等における啓発ポスターやパンフレットの配置を行った。11月には「女性に対する暴力をなくす運動」(12日～25日)期間として、市内図書館に「パープルリボン」(女性に対する暴力根絶のシンボルマーク)などを飾り付けたシンボルツリーを設置するなど、意識啓発を行った。</p>				
<p><b>【今後の取組について】</b></p> <p>今後は、情報発信の充実に加え、多くの人に閲覧してもらうための環境整備を行うとともに、「男女共同参画社会基本法」に基づき平成31年3月に策定した「第2次観音寺市男女共同参画計画」の見直しを実施し、後期計画(令和6年度～令和10年度)を策定する予定。</p>				

(5) 結婚を希望する男女を応援する環境づくりの推進				
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (平成30年度)	目標値 (令和6年度)	KPIの進捗評価
婚姻届受理件数		250件	250件	C
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
219件	189件	185件		
<p><b>【関連施策の実施状況】</b>  結婚を希望する独身者に向けた新たな出会いを後押しするため、縁結び支援センター登録補助金として縁結びマッチング会員の入会登録料1万円の2分の1を市が負担している。  令和4年度の利用者は32名であった。また、かがわ縁結び支援センターの職員を招いて地元団体に婚活イベントや縁結びマッチングの登録の説明等を行った。  婚活イベントに関する補助については、商工会等の実行委員会が開催する婚活イベント(12/18開催)に助成を行った。  縁結び支援センター応援団体の登録数及びマッチング会員登録数は令和3年度より増加しているが、引き続き登録数の増加に努める。</p>				
<p><b>【今後の取組について】</b>  結婚支援については、地域の人々や事業所などのサポートも必要であり、かがわ縁結び支援センターと協力して、市内事業所等に応援団体(出会いの場所や機会の提供などを行う)への登録について周知していく。  また、独身者に対しても、チラシや広報紙への掲載等により、縁結びマッチング会員入会登録への補助制度の周知に努め、さらなる利用者の増加につなげる。</p>				

基本目標3 新たな交流を生むまちづくり

数値目標		基準値 (平成30年)	目標値 (令和6年)	
観光入込客数		141万人	150万人	
令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
101万人	93万人	117万人		

(1) 観光・交流人口の拡大

重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (平成30年)	目標値 (令和6年)	KPIの進捗評価
道の駅(2か所)の総売上額		119,840千円	120,000千円	B
令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
97,823千円	84,176千円	112,538千円		

【関連施策の実施状況】

観光PRに関しては、本市の事業においてパンフレットやポスターの増刷・改訂や、観光PR看板の設置などを定期的に行っている。また、観光行政を推進するための中心母体である観光協会への支援等を行っており、近年リニューアルした観光協会のホームページでは、「観光スポット」・「グルメ」・「遊び」・「宿泊」・「おみやげ」など、地域の立ち寄りスポットやイベント情報を発信している。

瀬戸内国際芸術祭2022においては、香川県や地元関係者と連携し、イベントの円滑な運営を行った。秋会期(9月29日～11月6日)の伊吹島ではアート作品が展示され、香川県の実行委員会によると約13,000人が来場した。また、来場者に島の歴史・風土を感じてもらえるよう、地域と連携して島の名産であるイリコをふんだんに使用した弁当を販売するなど、「食」のPRにも取り組んだ。

今回の開催から、紙パスポートに加えて「瀬戸内国際芸術祭2022 デジタルパスポートアプリ」(瀬戸芸デジパス)が導入され、スマホアプリとして使える作品鑑賞パスポートの販売を行っている。

アニメコンテンツを活用した観光・交流人口拡大の取組については、本市を舞台とするアニメ関連のスタンプラリー及び物販イベントを開催するとともに、琴弾公園山頂展望台に、従来のものに加えて、アニメ声優による観光音声案内を設置した。

また、市内の観光地や企業用地を結ぶ交通ネットワークの整備を進めており、令和4年度は市道琴浜柞田川線、市道見卓新11号線を整備することで、観光客や雇用創出による、新しい人の流れをつくる取組を進めている。

**【今後の取組について】**

効果的な観光宣伝が行えるよう、その手法について検討するとともに、観光協会を中心とした観光施策における他市との比較分析や、観光協会独自の視点を取り入れた情報発信等への支援を行っていく。

瀬戸内国際芸術祭については、イベントが開催されない中2年間も「Art Setouchi」が開催されており、伊吹島においても屋外作品が数点展示されるなど、引き続き県や市の実行委員会と連携してアートを媒体とした継続的な観光誘客を行っていく。

アニメコンテンツの活用については、令和3年2月に設立した官民協働の実行委員会を中心として、引き続き聖地巡礼によるコンテンツツーリズムの推進や他の観光資源とのマッチングを図るなど、新たなファン及びリピーターの増加を図っていききたい。

本市を訪れる観光客等のアクセス性の向上については、交通ネットワークの整備において、工事の早期発注や適切な進捗管理を行うことで整備効果を早期に発現させ、交流人口や雇用の増加につなげていきたい。

**(2) 関係人口の創出**

重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (平成30年度)	目標値 (令和6年度)	KPIの進捗評価
がんばれ観音寺応援隊の隊員数 (累計)		136人	260人	B
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
208人	219人	230人		
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (平成30年度)	目標値 (令和6年度)	KPIの進捗評価
ふるさと納税の寄附金額		187,192,067円	1,000,000,000円	A
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
839,738,032円	1,271,306,700円	1,591,178,958円		

**【関連施策の実施状況】**

本市のシティプロモーションについては、東京有楽町駅前広場で「かんおんじフェア」を実施した。市内事業者による特産品の販売や移住定住相談、観光情報紹介、ふるさと納税PRを行った。また、各分野で活躍されているそれぞれの立場から本市の魅力の紹介や宣伝など、本市の知名度やイメージの向上につながる活動を行う「ふるさと応援大使」の委嘱式も同時に行い、にぎわいのあるフェアが開催できた。

ふるさと納税の募集については、返礼品の追加やリピーターの獲得、寄附受付ポータルサイトの追加等により、寄附額の大幅な増加につながった。傾向としては、昨今の物価高騰により日用品を返礼品に選ぶ人が増えている。また、寄附金受領証明書発送業務やワンストップ特例申請書の受付業務を外部委託することで事務作業の軽減を行ったほか、スマートフォンとマイナンバーカードのみでワンストップ特例申請を完結できるアプリケーションを導入するなどデジタル活用による利用者の利便性の向上に努めた。

**【今後の取組について】**

シティプロモーションの取組については、引き続き東京有楽町駅前広場にて「かんおんじフェア」を実施する予定である。効果的なPRを行い本市の認知度が向上するよう、今後は関西地区など、他の都市部におけるフェア開催についても検討していく。

ふるさと納税については、募集に要する経費（返礼品やポータルサイトへの掲載など）を、寄附金額の5割以内とする基準があるが、令和5年10月の制度改正により、ワンストップ特例事務や寄附金受領証の発行など、経費として計上される範囲が広がるなどの変更があった。今後は、制度に則った運用を実施しながら寄附の受入れ拡大に努めていきたい。

**(3) 学校との連携**

重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (平成30年度)	目標値 (令和6年度)	KPIの進捗評価
市内幼小中学校、高等学校及び大学等との連携事業数(累計)		15事業	18事業	A
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
14事業	14事業	22事業		

**【関連施策の実施状況】**

市内小中学校と連携した事業として、地域の工場や事業所見学、長寿会との交流など、地域の自然や産業、人々の営みに触れることで、教科等の枠にとらわれない総合的な学習活動を実施した。一部で新型コロナウイルス感染症の影響があり、職場体験活動を学校に講師を招いての講話等に変更するなどして対応した。

大学との連携に関しては、本市で不足している年齢層の大学生が、市内の地域資源を積極的に活用し、市の情報発信や交流の拡大を図る地域活性化事業に取り組んでいる。

令和4年度は、香川大学の「瀬戸内地域活性化プロジェクト観音寺班」の活動を支援した。本市を舞台としたアニメの主人公らが勇者部(ボランティア部)として活動していることちなみ、全国のファンと有明浜の清掃活動を行う「リアル勇者部活動」や、ほっとはうす菰(子育て支援センター)でのクリスマスツリー作成イベント、ふるさと学芸館(廃校を利用)における宿題教室、SNSでの情報発信等を行うなど、地域での交流拡大を図った。

一部イベントの募集・受付に労力を要していたが、大学側にてweb受付及びメールによる自動応答を導入したことにより募集作業等が改善している。

**【今後の取組について】**

市内小中学校と連携した総合的な学習活動の実施にあたっては、教科等の枠を超え、児童・生徒が自ら課題を見つけ、よりよく問題を解決する資質や能力などを育むため、引き続き各学校において、創意を凝らし教育活動を継続していく。

香川大学との連携事業では、近年多くの学生が活動に参加いただくなど、市の情報発信や交流の拡大に関する継続的な活動ができている。活動内容については、地域の課題を市側から学生に提案するだけでなく、学生の視点で課題を発見し活動に反映するようつなげていきたい。

また、学生から見た観音寺市の魅力をSNS等で積極的に発信してもらうことで、本市の新たな魅力づくりを進めていく。

(4) 移住希望者に向けての情報発信及びフォロー				
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (平成 30 年)	目標値 (令和 6 年)	KPI の進捗評価
転入者数		1,666 人	1,750 人	A
令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年
1,516 人	1,406 人	1,764 人		
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (平成 30 年)	目標値 (令和 6 年)	KPI の進捗評価
転出者数		1,860 人	1,750 人	B
令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年
1,682 人	1,693 人	1,971 人		
<p><b>【関連施策の実施状況】</b></p> <p>移住定住支援については、関連する補助制度及び子育て教育施設の情報等を掲載した定住支援パンフレット 2022 を作成し、窓口等での配布やホームページ掲載を行った。</p> <p>大阪・東京における香川県移住フェアは 3 年ぶりに現地で開催。本市の相談ブースを訪れた来場者に本市の概要や移住支援制度の説明を行った。</p> <p>また、空き家バンク制度において、空き家と売買・賃貸希望者をマッチングし、市民の定住や空き家の活用・流動化を図り、成約 20 件中、県外の人による成約が 4 件であった。</p> <p>さらに、空き家バンクの利用を促進するために、空き家リフォーム補助金を実施し、リフォームや不要物撤去に一部補助を行うことで、物件登録・成約を後押しした。(リフォーム 10 件、不要物撤去 5 件) また、物件の成約促進のために設けている「空き家バンク事業者登録」の制度も、再度、不動産事業者に対して周知を行い、登録数は 11 件増えた。</p>				
<p><b>【今後の取組について】</b></p> <p>本市を知ってもらうきっかけづくりのため、市ホームページ、移住・定住支援パンフレット及び SNS など移住者向けの情報発信を行うとともに、移住サイト「観音寺市で暮らしませんか」における投稿内容の充実を図る。また、移住者向けの民間雑誌での無料掲載を活用するなど、県外在住者へ向けた情報発信に努める。</p> <p>空き家バンク制度については、市内不動産業者に制度を広く知ってもらい周知協力いただくとともに、空き家バンク事業者登録により情報提供可能な体制を構築することで、空き家の解消を進める。また、空き家の所有者や利用希望者に向けても、広報、市HP、固定資産税納税通知書と同封のチラシなどで、空き家バンクやリフォーム補助制度のPRを継続することで、新規物件登録数や成約件数の増加を図る。</p>				

基本目標 4 持続可能なまちづくり				
数値目標		基準値（平成 28 年 9 月実施市民アンケート）	目標値（令和 3 年度実施予定アンケート）	
観音寺市に対する定住意向（アンケート）		住み続けたい 54%、どちらかといえば住み続けたい 23.8% 計 77.8%	計 85%	
令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
—	74.6%	—	—	—
数値目標		基準値（平成 30 年）	目標値（令和 6 年）	
住宅の新築戸数		249 戸	250 戸	
令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年
216 戸	208 戸	230 戸		

(1) 周辺市町との連携				
重要業績評価指標（KPI）		基準値	目標値（令和 6 年度）	KPI の進捗評価
新規広域連携事業数（累計）		—	3 事業	A
令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
1 事業	3 事業	3 事業		
<p><b>【関連施策の実施状況】</b>  四国まんなか交流協議会において、観音寺市、四国中央市、三好市の 3 市が連携して以下の取組を実施した。</p> <p>情報発信事業：交流人口増加などによる地域の賑わい創出のため情報冊子「マチボン」を作成し、それぞれの庁舎等において配布するなど、今後人気となるであろう観光及び飲食スポットを紹介した。その他、インスタグラムによる観光等の地域の魅力発信を行った。</p> <p>関係人口創出事業：四国中央地域における観光スポット等の魅力を発見し地域内外に PR するため、3 県に所在する大学の学生に参画いただき、3 市にまたがる「大学生交流バスツアー」の企画立案を行った。（実施は令和 5 年度を予定）</p> <p>研修事業：3 市の中堅職員を対象に、職場のチームワークやコミュニケーションをテーマとした研修を開催し、意識啓発や交流を図った。</p>				

**【今後の取組について】**

様々な手法で3市の連携や四国中央地域活性化のための活動を行っていく必要があり、今年度は、3市が連携した職員交流研修や婚活イベントを開催するほか、関係人口創出のため、3県の大学の学生が観音寺市・四国中央市・三好市にまたがるバスツアーを企画し、自ら参加することで、地域間交流や観光スポット等についての情報発信を行う。

協議会のインスタグラムについては、3市が協力して継続的な情報発信を行うなど、観光スポットやイベント情報を中心とした投稿を続けていく。

**(2) 地域コミュニティの活性化**

重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (令和2年度)	目標値 (令和6年度)	KPIの進捗評価
地域サロン活動を実施している自治会の割合(実施自治会/全自治会)		3%(8自治会/263自治会)	70%	E
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
3% (8/263)	3% (9/263)	3% (9/260)		

**【関連施策の実施状況】**

自治会活動の均衡ある発展と活動の充実や住民自治の発展を図ることを目的として、自治会活動補助金を交付している。各自治会の活動は、行事を縮小しながら再開を始めているようだが、依然として中止となった活動も多かった。

また、高齢者を中心とした三世代交流を通じて地域住民が自由に参加し、コミュニティ活性化につながる地域サロン活動を支援しているが、新型コロナウイルス感染症の影響で申請件数が少なく、令和3年度と同数の9件であった。

ボランティア団体やNPO法人などの市民活動団体に対しては、地域の課題を解決するための自主的な活動を支援している。令和4年度は申請のあった2団体に補助金を交付した。

地域おこし協力隊事業については、令和4年度は市内の3団体とともに地域おこし協力隊が活動し、まちなかや山間地域、またJR豊浜駅を拠点とする周辺地域の活性化を図った。

令和4年度末に任期を終了した隊員は、自身が撮影した写真でのポスター制作、写真展開催などの実績を残し、任期終了後も、撮影した動画の提供をしてくれている。

活動2年目となる隊員は、受入団体とともに、最終年に向けた活動を行っている。

令和4年度着任の隊員は、受入団体との関係を築きながら生活基盤を整え、活動を開始した。

**【今後の取組について】**

自治会活動に対しては、自治会員1世帯あたり1,700円の補助金があることを引き続き各自治会に周知するなど支援を継続する。

地域サロン活動については、新型コロナウイルス感染症の影響から立ち直り、少しずつ活動が増えてくることが予想されるため、引き続き各地域の活動を支援する。

市民活動団体の活動については、その活動を広く市民に周知し、活動内容を理解してもらうことで、誰でも参加できる体制や利用しやすい環境づくりを推進していく。

地域おこし協力隊事業については、任期終了した隊員が活動していた地域で、これからどのような影響があるか、今後の活性化の広がり等について、検証していく必要がある。

今後は、隊員と受入団体、隊員同士、隊員と市民、などの交流を積極的に実施するとともに、市広報紙やフェイスブック等で、隊員の活動を紹介していく。

また、地域が必要としている、地域に密着した活動ができるよう、柔軟な活動支援や意見交換が必要である。今後は、令和5年度に任期終了を迎える隊員の起業について支援する。



(3) 住民の住みやすさ向上				
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (平成30年度)	目標値 (令和6年度)	KPIの進捗評価
のりあいバス利用者数		215人/日	255人/日	C
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
154人/日	151人/日	159人/日		
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (平成30年度)	目標値 (令和6年度)	KPIの進捗評価
空き家バンクの利用(成約)件数		13件	30件	C
令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
19件	17件	20件		
<p><b>【関連施策の実施状況】</b></p> <p>のりあいバスは、市民のニーズに対応した利便性の高い公共交通網の構築を目標に路線の全面的な見直しを実施(H28)し、その後継続して利用促進に努めた結果、利用者数が伸びてきていたが、コロナ前より3割4割ほど利用者数が減少した。</p> <p>また、のりあいバスの市内5路線(伊吹線を除く)において、令和4年度より位置表示システムの実証実験を行っており、専用サイトにてバスの現在位置が分かるなど、利便性向上の取組を行っている。</p> <p>空き家対策については、老朽化して倒壊のおそれがある空家等について除却の促進を図るとともに、その他の空家等の適切な管理、活用の促進について働きかけや広報活動を行うなど、総合的に取り組んだ。</p> <p>空き家バンク制度では、空き家と売買・賃貸希望者をマッチングし、空き家の活用・流動化を図ることができ、市民の定住にもつながっている。成約20件中、県外の人による成約が4件であった。さらに、空き家バンクの利用を促進するために、空き家リフォーム補助金も実施し、リフォームや不要物撤去に一部補助を行うことで、物件登録・成約を後押しした。(リフォーム10件、不要物撤去5件)</p> <p>また、物件の成約促進のために設けている「空き家バンク事業者登録」の制度も、再度、不動産事業者に対して周知を行い、登録数は11件増えた。</p>				
<p><b>【今後の取組について】</b></p> <p>のりあいバスは、利用者数増加のため活用方法を広く周知するとともに、利便性向上に努めることで、他の公共交通機関から離れた不便地域の住民や高齢者等の外出機会の促進を図る。</p> <p>空き家対策については、空き家等管理に関する所有者等の責務について広報紙やホームページを活用して周知を行う。適切に管理されていない空き家等の現況や管理の責務については、所有者等に認識してもらうために、管理の依頼文書と現況写真を送付するなどして対応するほか、必要に応じて、空き家等の放置によるリスクやそれを防止するための方法や支援制度等を記載した資料等の同封を行うなど意識啓発を図る。</p> <p>また、所有者等が存在しないケースや、連絡が全く取れないケースなどについて具体的な対策の方向性について検討する。</p>				

空き家バンクは、市内不動産業者に空き家バンク制度を広く知ってもらい周知協力いただくとともに、空き家バンク事業者登録により情報提供可能な体制を構築することで、空き家の解消を進める。また、空き家の所有者や利用希望者に向けても、広報、市HP、固定資産税納税通知書と同封のチラシなどで、空き家バンクやリフォーム補助制度のPRを継続することで、新規物件登録数や成約件数の増加を図る。

(4) 情報提供と広聴広報活動の強化				
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (H31. 4. 1)	目標値 (R7. 3. 31)	KPI の進捗評価
フェイスブックのフォロワー数		2,831 人	3,330 人	B
令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
3,090 人	3,176 人	3,295 人		
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (H31. 4. 1)	目標値 (R7. 3. 31)	KPI の進捗評価
ツイッターのフォロワー数		3,280 人	6,000 人	B
令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
4,464 人	5,226 件	5,895 人		
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (平成 30 年度)	目標値 (令和 6 年度)	KPI の進捗評価
報道機関への情報提供数		210 件	250 件	A
令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
244 件	336 件	329 件		
<b>【関連施策の実施状況】</b>				
<p>広報紙（広報かんおんじ）については、市民の皆さんに広報紙をできるだけ読んでいただくために、毎月特集記事を制作している。令和 4 年 8 月号は香川県広報コンクールの写真部門 2 部門（1 枚写真の部、組み写真の部）で優秀賞を受賞した。</p> <p>市のホームページは、1 日のアクセス数は令和 4 年度が 1 日平均 5,642 件だったのに対し、令和 5 年度は 1 日平均 5,027 件に減少した。例年に引き続き、観光地情報（天空の鳥居、銭形砂絵など）のアクセス数は高いが、新型コロナウイルス関連情報の閲覧数が大幅に減少したことが影響している。</p> <p>また、フェイスブックやツイッター等の SNS でイベント情報や市内の魅力的な風景の写真などの投稿を随時行うなど、フォロワー数は増加傾向にある。</p> <p>インスタグラムでは市民や観光客に市の魅力を発信してもらうため、参加型の「#かんおんじふおと 2022」キャンペーンを 2 回開催し、観音寺市で投稿された魅力的な写真の投稿を募集した。投稿写真の中から、特に素敵な作品を投稿された 5 名に優秀賞として観音寺市の特産品や市 PR グッズを贈ったほか、投稿写真を市の広報活動に役立てている。（広報紙等への掲載、絵はがきやポスターの作成）</p>				

**【今後の取組について】**

広報に関しては、報道関係者への情報提供数を増やし、より取材していただけるような文章表現を意識してプレスリリース資料を作成する必要がある、関係各課に報道機関への積極的な情報提供を呼びかける。また、令和5年度中にはホームページ改修を行う。

シティプロモーションの取組としては、インスタグラムの投稿頻度を高めるとともに、定番の観光スポット以外の様々な地域の風景についても掲載するなど内容を充実させる。インスタキャンペーンも引き続き実施することでフォロワー数の増加及び魅力的な画像の収集に努め、広報活動に役立てていく。

○重要業績評価指標（KPI）の評価一覧（令和4年度分 全29件）

A評価・・・9件（令和3年度 6件）

「認定新規就農者数（累計）」、「創業セミナーの参加者数」、「地域や学校の活動に学校運営協議会の委員が参加（協働）した回数が、年間2回以上の市内小中学校の割合」、「かがわ女性キラサポ宣言に登録している市内事業所数（累計）」

「ふるさと納税の寄附金額」、「市内幼小中学校、高等学校及び大学等との連携事業数（累計）」、「転入者数」、「新規広域連携事業数（累計）」、「報道機関への情報提供数」

B評価・・・7件（令和3年度 8件）

「製造品出荷額等」、「出生者数」、「道の駅（2か所）の売上総額」、「がんばれ観音寺応援隊の隊員数（累計）」、「転出者数」、「フェイスブックのフォロワー数」、「ツイッターのフォロワー数」

C評価・・・7件（令和3年度 9件）

「合同企業説明会における就業者数（採用）」、「企業等誘致数（累計）」、「市内小中学校の地域学校協働本部設置率」、「外国人の人口」、「婚姻届受理件数」、「のりあいバス利用者数」、「空き家バンクの利用（成約）件数」

D評価・・・1件（令和3年度 1件）

「中小企業経営改善資金利子補給実施件数と金額」

E評価・・・3件（令和3年度 3件）

「森林整備面積（累計）」、「サテライトオフィス誘致事業所数（累計）」、「地域サロン活動を実施している自治会の割合（実施自治会/全自治会）」

評価なし・・・2件（令和3年度 2件）

「観音寺市に対する愛着度（高校生）」、「合計特殊出生率」